

報道発表

平成 23 年 3 月 28 日 (月)

午前 11 時 00 分

平成 23 年度

公立大学法人山口県立大学

当初予算 報道発表資料

平成 23 年 3 月 28 日 (月)

【お問合せ先】

公立大学法人山口県立大学

経営企画部 (担当: 木村、佐々木)

〒753-8502 山口市桜畠 3 丁目 2 - 1

TEL: 083 - 928 - 3417

FAX: 083 - 928 - 3464

公立大学法人山口県立大学 平成23年度当初予算の概要

予算編成方針

法人化後6年目となる平成23年度は、第1期中期計画期間の総仕上げの年度であり、次期中期計画（平成24年度～平成29年度の6年間）の準備期間でもあります。

キャンパス移転構想が第一歩を踏み出したこともふまえて、本学が、存在感のある「地域貢献型大学」としてより一層の飛躍を図るための事業を重点として、予算編成に取り組みました。

《創生から飛躍に向けた、ステージアップ予算》

第1期中期計画の総仕上げ、中期計画期間中の取組成果の継承

大学改革推進事業（GP）の完遂・継承、地域貢献・国際交流活動の充実
次期中期計画に備えた、教育研究活動の展開・学生支援の充実等

入口・出口対策の強化、教育質保証の取組、将来構想・キャンパス移転
県立大学の魅力アップ、存在感向上のための取組の推進

大学広報の強化、山口国体への参加、創立70周年

当初予算の概要

1 予算規模

予算規模は、20億34百万円で、前年度当初予算（20億61百万円）に比べ27百万円（1.3%）の減となっています。

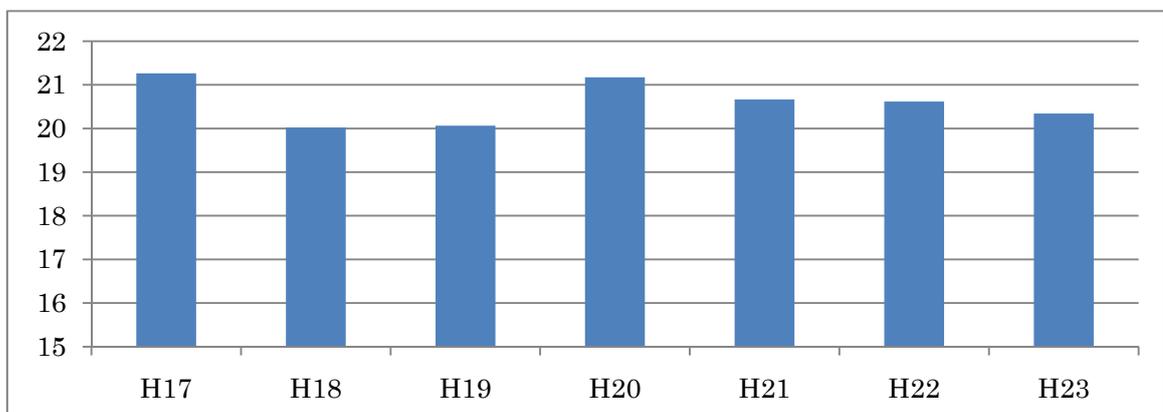
（単位 千円 %）

区 分	平成23年度 A	平成22年度 B	増減額 C = A - B	増減率 D = C / B
収入支出予算	2,034,425	2,061,727	27,302	1.3

【参考 当初予算規模の推移】

（単位 千円）

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
2,126,444	2,002,018	2,006,523	2,117,475	2,066,350	2,061,727	2,034,425



1 平成17年度は県予算。平成18～23年度は法人予算。

2 平成17年度は、独立行政法人移行経費、大学院博士後期課程設置経費（146,775千円）を含む。

2 収入予算の状況

運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の87.8%を占めています。

運営費交付金は、中期計画期間中の総額（62億円）の範囲内で、法人の財政計画に沿って県から交付される額から、平成21年度から23年度までの措置として法人自ら行う給与の減額分（平23:26,654千円）を控除した額を計上しています。

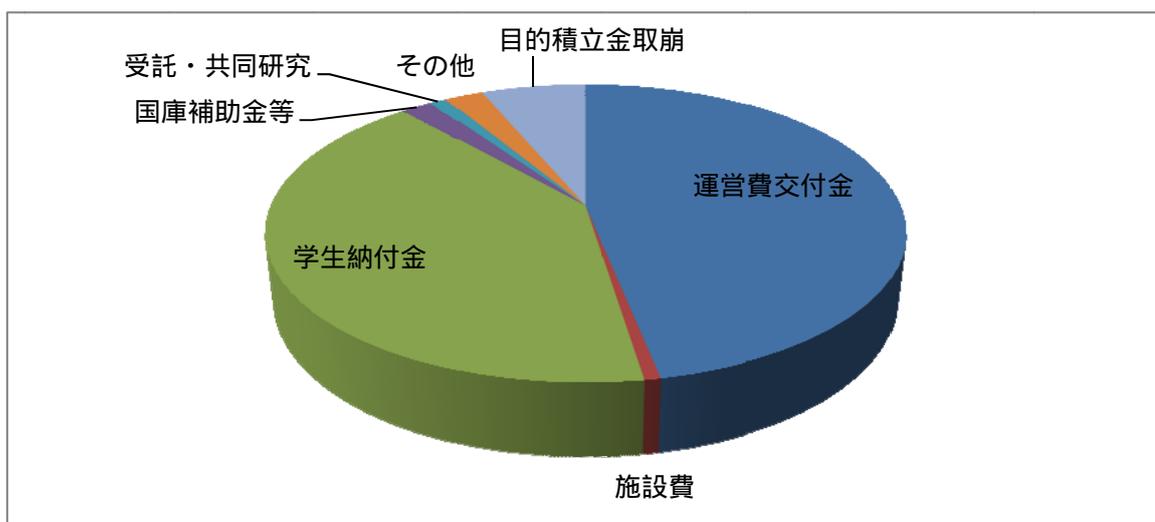
学生納付金は、授業料減免者の増加などにより10百万円（1.2%）の減を見込んでいます。

国庫補助金等は、文部科学省G P補助金に係る事業1件が平成22年度をもって終了したことから15百万円（28.7%）減少しています。

教育研究・業務運営の充実、施設設備の改善を図るため、目的積立金取崩収入128百万円（平22：91百万円）を計上しています。

（単位 千円 %）

区 分	平成23年度 A		平成22年度 B		増減額 C=A-B	増減率 D=C/B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金	953,771	46.8	1,004,150	48.7	50,379	5.0
施設費	14,028	0.7	17,088	0.8	3,060	17.9
学生納付金	833,673	41.0	843,859	40.9	10,186	1.2
国庫補助金等	37,905	1.9	53,150	2.6	15,245	28.7
受託・共同研究収入	20,000	1.0	18,000	0.9	2,000	11.1
その他	46,397	2.3	34,501	1.7	11,896	34.4
目的積立金取崩収入	128,651	6.3	90,979	4.4	37,672	41.4
合 計	2,034,425	100.0	2,061,727	100.0	27,302	1.3



3 支出予算の状況

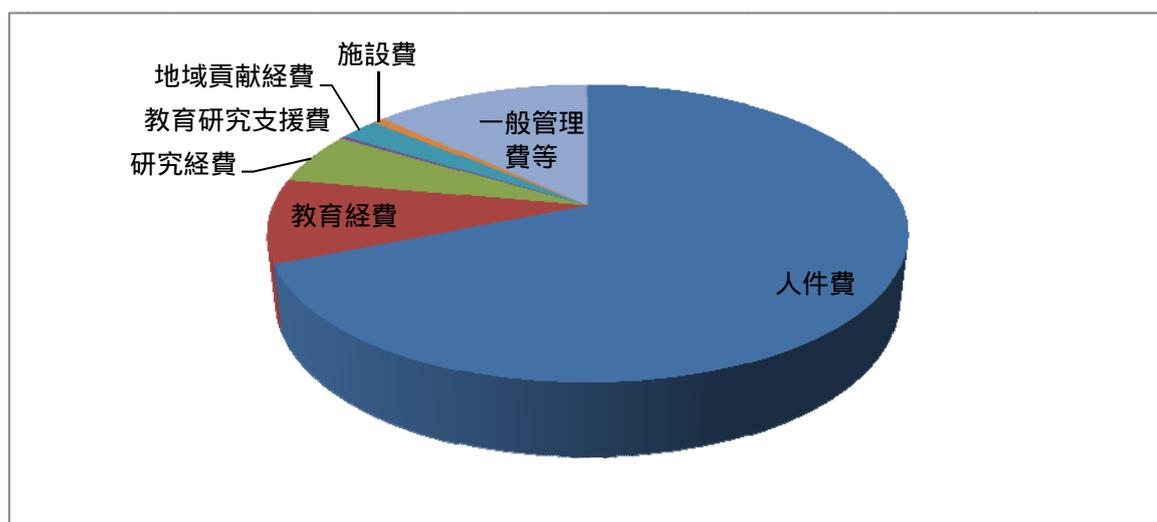
人件費が支出総額の68.9%を占めていますが、前年度に比べ3.2%の減となっています。（退職金を除いた人件費は前年度並み）

人件費以外の事業費（教育研究に係る経費など）は、前年度に比べ18百万円（3.0%）の増となっていますが、広報の充実や創立70周年事業など一時的な支出により一般管理費が大きく増加しています。

地域貢献経費は13.2%の増となっていますが、新たな県からの委託事業による影響です。

（単位 千円 %）

区 分	平成23年度 A		平成22年度 B		増減額 C=A-B	増減率 D=C/B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
人件費	1,401,334	68.9	1,447,161	70.2	45,827	3.2
うち役職員給与費	1,401,334	68.9	1,401,060	68.0	274	0.0
うち退職金	0	0.0	46,101	2.2	46,101	皆減
教育経費	185,641	9.1	188,457	9.1	2,816	1.5
研究経費	114,234	5.6	133,095	6.5	18,861	14.2
教育研究支援費	6,373	0.3	21,368	1.0	14,995	70.2
地域貢献経費	48,470	2.4	42,835	2.1	5,635	13.2
施設費	14,028	0.7	17,088	0.8	3,060	17.9
一般管理費その他	264,345	13.0	211,723	10.3	52,622	24.9
合 計	2,034,425	100.0	2,061,727	100.0	27,302	1.3



主要事項

1 入口・出口対策の強化

(1) 入学企画対策事業

拡充

12,500 千円

大学進学志願者や保護者、進学指導関係者等に向けて本学の魅力を発信し、本学で学ぶにふさわしい意欲・適性・能力を持った学生を迎え入れます。特に、県内志願者の増加に向けた取組の充実を図ります。

オープンキャンパス（6月1日間、7月2日間）

学科説明会や模擬講義、キャンパスツアーのほか、保護者向けの説明会を開催

出前講義

県内高校に本学教員が赴き、高校生を対象に講義

県内高校との連携

県校長会との協議会、高校訪問による PR

大学見学

高校のクラスや PTA 等希望者を本学に迎えて模擬講義や施設を案内

入試広報（拡充）

情報誌、テレビ CM 等を活用して、本学の魅力を PR

(2) 就職対策事業

拡充

15,140 千円

厳しさが続く就職状況に対応するとともに、地域への優れた人材の提供を推進するため、学生の就職活動支援体制の強化を図ります。

キャリアサポートセンター所長の民間登用（新規）

県内就職事情に詳しい民間就職支援会社から所長を登用（派遣）し、企業等との連携、各種就職支援事業の強化を図る

キャリアカウンセラーの配置

専門分野別個別相談による、個々の学生の希望や適性に応じた指導
就職対策事業（拡充）

早くから将来の進路の意識づけを行う 1・2 年生向けキャリア講座をはじめ、学年進行に応じたガイダンス、就職講座等により就活を支援
保護者対象キャリアガイダンス（新規）

入学式・教育後援会等を活用した情報提供

2 教育研究活動の活性化

(1) 別科助産専攻開設準備

新規

11,976 千円

これまで学士課程で行っていた助産師養成を、平成 24 年度に開設する別科助産専攻で行うこととし、県内の助産師養成機関としての役割を果たしていきます。

[開設年度] 平成 24 年度 (平成 23 年度中に開設申請)

[修業年限] 1 年間

[募集定員] 15 名 (開設当初 3 年間は 10 名)

[国への申請] 平成 23 年 8 月予定

(2) 文部科学省戦略的大学連携支援プログラム

継続

34,755 千円

< 個性的小規模大学連携による地域活性型 e-quality 仮想的大学の創生 >

地域に生き学び輝く学生を育み、地域を活性化する原動力とするため、県内高校、自治体や団体、試験研究機関などと連携しながら高校生や地域市民もアクセス可能な能動的学習空間を提供する仮想的大学の創生を目指します。

[連携大学] 山口県立大学 (代表校)、山口東京理科大学、山口学芸大学

[事業期間] 平成 21 年度 ~ 23 年度

[事業内容] ・ 高大接続教育プログラムの共同実施

・ 語学、情報など各大学に共通する科目のモデル教材開発

・ 各大学の得意分野に係る教養科目の教材開発、共有

・ 臨地実習型授業の共同開講

・ テレビ会議システムによる公開授業の配信 等

(3) 文部科学省大学改革推進事業 (GP) の成果の継承

拡充

13,741 千円

平成 22 年度までに文部科学省の補助事業期間が終了した 5 件の GP について、その成果を生かし、大学単独事業として引き続き実施します。

やまぐち多世代交流・地域共生授業 (現代 GP 継承) 2,373 千円

環境・健康教育・副専攻環境システム (現代 GP 継承) 4,168 千円

地域交流・体験学習を通じた福祉人材養成 (特色 GP 継承) 1,327 千円

キャリアアップ研修 (管理栄養士) (学び直し GP 継承) 1,873 千円

社会人基礎力を涵養する学生生活動支援 (学生支援 GP 継承) 4,000 千円

(4) 食育系プロジェクトの推進

継続

1,444 千円

本学の特色を生かし、食育に関する学生の実践活動や食生活自立の支援と、地産地消を組み合わせた取組を総合的に展開します。

食育プロジェクト

学生の課外活動と連動して、小学生対象の食育プログラムを実施

お弁当の日プロジェクト

学生を中心とした「お弁当の日」の実践、学生向け料理教室の開催

地産地消プロジェクト

授業及び学生の課外活動と連携した地産地消メニューの開発、学生食堂における提供

(5) 教育の質保証等に向けた組織的取組

継続

3,500 千円

学生や社会のニーズ、教育の質保証の要請等に的確に対応するため、「教育研究推進室」(平成 22 年度設置)が主導して、大学教育の企画立案、教員の能力開発及び研究活動の促進に資する組織的な取組を行います。

教育企画対策

教職員の組織的研修、教育に関する将来展望・戦略策定、文部科学省大学改革等推進補助金新規申請推進 等

研究推進対策

研究推進体制企画立案、文部科学省科学研究費補助金申請推進 等
大学改革フォーラムの開催

3 特定課題への対応

(1) 県立大学将来構想検討

新規

3,000 千円

平成 24 年度からの第二期中期計画期間の到来や、第一歩を踏み出したキャンパス移転に向けて、本学が更なる発展を遂げるための調査検討を行います。

第二期中期計画への対応

先進大学の視察調査等をとおして、次期中期計画の到達点を展望

第二期施設整備計画への対応

県が進める第二期施設整備計画の進捗に応じた本学としての必要な対応

(2) 大学広報の推進

拡充

11,600 千円

地域における存在感を高めるため、本学の特色や魅力の発信力を高めます。

ホームページの全面リニューアル

デザインやページ構成の見直しによる、情報発信力の向上

大学グッズの開発

本学の活動を象徴化するグッズの開発、活用

学内サインの整備

学内案内板、情報掲示板等のデザイン更新によるイメージアップ

(3) おいでませ！山口国体・山口大会へのボランティア参加

新規

(基礎セミナーに係る経費 1,093 千円)

本年開催される山口国体・山口大会の各種ボランティアに本学学生が多数参加し、有効な人材育成の場として活用します。

山口国体総合開会式(10月1日)

式典前演技への出演(課外活動)

山口国体閉会式(10月11日)

受付、案内、会場整理等(課外活動)

山口大会(全国障害者スポーツ大会)期間中(10月20~25日)

選手団の歓送迎、競技場での誘導介助等 6 日間のボランティア活動を、1 年生基礎科目である基礎セミナーのフィールドワークとして実施

- (4) 山口県立大学山口国体支援プログラム 継続 2,500 千円
山口国体の総合優勝に向け、本学在籍選手の競技力強化に向けた各種支援に取り組みます。

強化種目

アーチェリー、山岳、陸上

支援内容

強化サポート（ストレングス、栄養、メンタル）

練習環境整備

強化試合等遠征

その他

学内PR活動による大会機運の醸成

- (5) 創立70周年記念事業 新規 7,500 千円
(創立70周年記念事業推進委員会所管事業への大学拠出金)

記念式典

[日時] 平成23年5月21日(土) 13:00~15:30

[場所] 山口県立大学 講堂(桜園会館)

[内容] 記念式典、記念講演、大学の歴史資料展示、ホームカミングデー
特別公開講座

本学以外の県内会場での客員教授等による特別講座

学生活動支援

サークル活動支援、学園祭支援等

(仮称)さくらの森夢基金の創設 等

4 地域貢献の充実

(1) 中山間地域元気創出若者活動支援事業

新規 10,000 千円

中山間地域における多様な課題や地域ニーズに対応するため、大学生等の若者による中山間地域を応援する自発的な取組みを支援します。

大学生等の提案による取組の支援

県内の大学や専門学校等から中山間地域を応援する提案を募集・採択し、実践に必要な活動経費を支援

中山間地域づくりサポートセンターの設置

提案の募集や大学、地域等との調整、WEBサイトによる応援活動の紹介を実施

(2) 生涯学習オープンカレッジ（予定）

拡充 2,839 千円

区分	平成23年度	平成22年度
公開講座	6講座	5講座
サテライトカレッジ等	14講座（9市町）	13講座（8市町）
公開講演会	4講座	4講座
公開授業	10講座	10講座
やまぐち桜の森カレッジ	4コース	4コース
高校生対象夏季公開講座	3コース	3コース
計	41講座等	39講座等

公開講座	周防大島町、平生町、光市、下関市（豊北） 姉妹大学交流公開講座（2講座） 無料
サテライトカレッジ等	岩国市（周東、玖珂）、柳井市、下松市、周南市（新南陽）、 山口市（本学、徳地、阿東）、山陽小野田市、美祢市、萩市、阿武町、 すこやかライフセミナー、生涯学習ボランティア講座
公開講演会	全学客員教授特別講義、3学部客員教授特別講義 無料
公開授業	医学、地域学、環境問題、生命と生活の質特論、基礎セミナー、 環境理論特別講義、アジア文化論 b、アフリカ社会・文化論、 異文化交流論b、環境理論特別講義
やまぐち桜の森カレッジ	国際・文化、人づくり、地域づくり、健康づくり各コース
夏期公開講座	国際文化、社会福祉、看護栄養各コース

(3) キャリアアップ研修等

認定看護師教育課程の開講

継続

30,843 千円

[開講時期] 平成 23 年 8 月～平成 24 年 2 月 (6 ヶ月)

[定 員] 30 人

平成 23 年度をもって募集停止

教員免許状更新講習

継続

717 千円

[開講時期] 平成 23 年 8 月 (夏休み期間)

[講 座 数] 必修領域 1 講座 選択領域 10 講座

キャリアアップ研修 (管理栄養士)

(再掲)

継続

1,873 千円

[開講時期] 平成 23 年 5 月～11 月

[定 員] 栄養士・管理栄養士 10 名

キャリアアップ研修 (発達障害)

継続

345 千円

[開講時期] 平成 23 年 8 月

[定 員] 学校教諭等 100 名

(4) 地域での国際交流機会の創出

継続

510 千円

留学生を地域の小中学校等に派遣し、相互交流型の国際理解講座を開催します。

[開催場所] 県内小中学校等 10 ヶ所 (予定)

5 国際化の推進

(1) 国際交流の充実・拡大

拡充

3,588 千円

平成 23 年度は、学術交流協定締結校 3 校との国際交流を行います。

ナバラ州立大学（スペイン）

訪問団を派遣し、学生交流、教員交流、共同研究の新たな展開を図る
センター大学（アメリカ）

3 年目となる教員相互交流（派遣、受入各 1 名）

ラップランド大学（フィンランド）

主に社会福祉分野での教員相互交流（派遣 1 名、受入 2 名）

(2) 国際共同研究の推進

継続

4,234 千円

学術交流協定締結校との間で、本学の特色を生かした共同研究を推進します。

ラップランド大学（フィンランド）との共同研究

山口とフィンランドの地域資源を活用した衣服や生活小物、日用家具等の商品開発

青島大学（中国）との共同研究

看護職の精神的健康、看護教育に関する比較研究